

農林水産業・地域の活力創造プランの概要

攻めの農林水産業
推進本部
(農林水産省)

農林水産業・地域の活力創造本部

産業競争力会議
規制改革会議

「強い農林水産業」・「美しく活力ある農山漁村」に向けた4本柱

農山漁村の有する
ポテンシャル
(潜在力)の発揮

経営マインド
(経営感覚)を
持つ農林漁業者
の育成

新たなチャレンジ
を後押しする
環境整備

需要フロンティアの拡大
(国内外の需要拡大)

-輸出促進、地産地消、食育等の推
進

需要と供給をつなぐ
バリエーションの構築
(農林水産物の付加価値向上)

-6次産業化等の推進
-農業の成長産業化に向けた農協の役割

多面的機能の維持・発揮

-日本型直接支払制度の創設
-農山漁村の活性化

生産現場の強化

-農地中間管理機構の活用による
農業の生産コスト削減等
-経営所得安定対策、米の生産調整の
見直し

-東日本大震災から
の復旧・復興

-林業の成長産業化

-水産日本の復活

農林水産業・地域の
活力創造プラン

【今後の進め方】

- プランに示された基本的方向に基づき、食料・農業・農村基本計画の見直しに向けた検討に着手し、当本部でフォローアップ
- 産業競争力会議及び規制改革会議の取りまとめを踏まえたプランの改訂（平成26年6月目途）
- プランの推進について政府としてフォローアップ

農業・農村全体の所得を今後10年間で
倍増させることを目指す。

「農林水産業・地域の活力創造プラン」の改訂について

農林水産業・地域の活力
創造本部決定
(平成25年12月10日)

1. 輸出促進・地産地消・食育等の推進
2. 6次産業化等の推進
3. 農業の構造改革と生産コストの削減
4. 経営所得安定対策の見直し及び日本型直接支払制度の創設
5. 農山漁村の活性化
6. 林業の成長産業化
7. 水産日本の復活
8. 東日本大震災からの復旧・復興
9. 農業の成長産業化に向けた農協の役割

※規制改革会議・産業競争力会議における検討を踏まえ、6月を目的に改訂

【農林水産省・関係府省】

現場の実態を踏まえた着実な改革の推進
(攻めの農林水産業実行元年)

【産業競争力会議】

- 経営力ある担い手の育成
- A-FIVEの活用
- 畜産・酪農の成長産業化
- 輸出環境整備、ジャパン・ブランド推進等
など

【規制改革会議】

- 農業委員会等の見直し
- 農協生産法人の見直し
- 農協協同組合の見直し

改訂のポイント

1. 輸出促進・地産地消・食育等の推進
・オールジャパンの輸出体制、輸出環境の整備
2. 6次産業化等の推進
・A-FIVEの積極的活用、畜産・酪農の強化
3. 農業の構造改革と生産コストの削減
4. 経営所得安定対策の見直し及び日本型直接支払制度の創設
5. 農業の成長産業化に向けた農協・農業委員会等に関する改革の推進
6. 人口減少社会における農山漁村の活性化
7. 林業の成長産業化
8. 水産日本の復活
9. 東日本大震災からの復旧・復興

プランの方向性を踏まえた食料・農業・農村基本計画の見直し